

**YAMAHA****PASバッテリーボックスアッセンブリ
取扱説明書****適 応 機 種
03~05 PZ24/PZ26****はじめに****■お客様へ**

お買い上げ誠にありがとうございます。

本書にはPASバッテリーの正しい取扱方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。

本書は、PASの取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管してください。PASを譲られるときは、この説明書もお渡しください。

■販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。

本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠ 警 告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

⚠ 注 意 取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要 点 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

バ ッ テ リ ー の リ サ イ ク ル に ご 協 力 く だ さ い 。

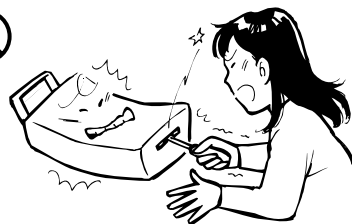
ニッケル水素バッテリーはリサイクル可能なバッテリーです。寿命がきて使用済みになったバッテリーは、お買い求め販売店で回収リサイクルしてもらってください。小さな積み重ねが地球の限られた資源を有効活用します。

ご 使 用 の 前 に**⚠ 警 告**

ご使用前に、車両本体付属の取扱説明書をよくお読みいただきご理解の上、ご使用ください。

バ ッ テ リ ー ボ ッ ク ス 取 扱 上 の 注 意**⚠ 警 告**

- バッテリーボックス底部の接点にものをつめたりショートさせないでください。
(接点部にものをつめると接触不良により使用できなくなることがあります。また、針金などでショートさせると感電または故障の恐れがあります。)



- バッテリーボックスに水をかけたり、水中に投下しないでください。
(バッテリーボックスに水をかけるとショートし、感電の原因になります。また、水中に投下すると電池機能を失い、使用できなくなります。)

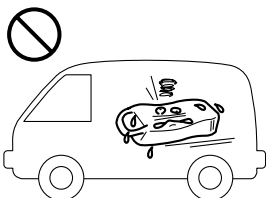


- バッテリーボックスを火中に投げ入れないでください。
(バッテリーボックスを火中に投げ入れると破裂の恐れがあり大変危険です。使用済バッテリーボックスはお買い求め販売店で必ずリサイクルしてください。)



⚠ 注意

- バッテリーボックスを自動車内に放置しないでください。



- バッテリーボックスを落としたり、強い衝撃を与えないでください。

(バッテリーボックスが破損したり、断線の原因になります。特に階段の角にぶついたり、運搬時に引きずったりしないでください。)



- バッテリーボックスを分解しないでください。

(バッテリーボックスを分解すると故障の原因になります。分解しないでください。)



⚠ 注意

- 傷ついたバッテリーボックスは使用しないでください。

(万一、バッテリーボックスを落下させたり、ぶついたりして破損したまま使用すると故障の原因になります。必ず、お買い求め販売店で点検を受けてください。)



- バッテリーボックスを他の電気製品に使用しないでください。

(バッテリーボックスはPAS専用です。他の電気製品に使用すると破損することがあります。PAS以外の用途には絶対に使用しないでください。)



バッテリーの特徴

PAS に使われているニッケル水素バッテリーとは…

このPAS に使われているバッテリーは高性能電池の一種で、充電と放電を繰り返し何度も使用できるとてもすぐれたバッテリーです。また、大きな電流が最後まで引き出せます。

バッテリーの特徴

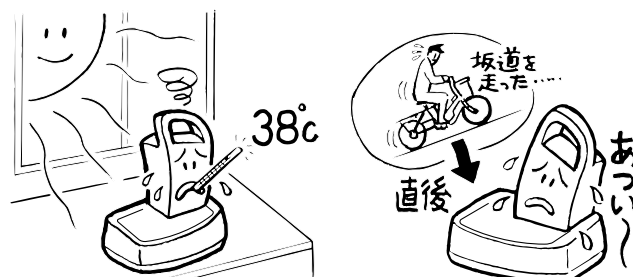
- バッテリーは暑さ、寒さが苦手です。
バッテリーは化学反応を利用して、充電と放電を行います。この化学反応は、温度に大きく影響される特徴があり、特に日本のように夏は暑く、冬は寒い環境はバッテリーの性能を大きく左右します。

- 冬期の性能低下

約 10℃以下の寒い環境では、バッテリー出力容量が少なくなり、走行距離が短くなったりアシスト力が低下することがありますが、気温が暖かくなる（バッテリーの温度が適温になる）と回復します。したがって、バッテリーを暖かい室内で保管しておいて使用すると、この症状を軽くすることができます。



- バッテリー温度が高い時の取り扱い
走行直後の充電、炎天下やストーブのそばなど熱い所での充電はさけてください。バッテリーの交換時期が早くなったり、走行距離が短くなったりします。



- バッテリーは、使用していなくても自然に放電します。自然に放電した分は、使用される前に充電をすれば回復します。
- 新品時は性能が充分に発揮されないことがあります。
新品時には走行距離が短いときがありますが、2 ～ 3 回使用して充電をすることで回復します。
(回復しない場合は販売店にご相談ください)

要 点

高性能なニッケル水素バッテリーでも、充・放電を繰り返すと次第に容量が少なくなり、バッテリーの交換が必要になります。これはバッテリーの特性によるもので、故障ではありません。

ニッケル水素バッテリーの「メモリー効果」について

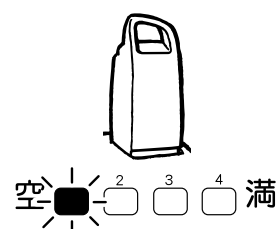
ニッケル水素バッテリーは、つぎ足し充電のように満充電後の放電量が少ない状態で充電・放電を何度も繰り返すと、見かけ上、バッテリー残量があるように見える「メモリー効果」と言われる現象が起こり、満充電にしても一充電あたりの走行距離が短くなります。

この場合でも、専用の充電器でリフレッシュ充電を行うことでバッテリーを回復させることができます。

バッテリーを消耗させる環境

● バッテリーが空の状態での放置

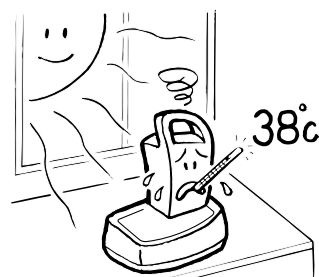
ニッケル水素バッテリーは使用していなくても自然に放電します。また、完全に放電してしまうと消耗を早めることがあります。長期間（1か月以上）乗らない場合は車両から外し、1灯～2灯の残量を残して保管をしてください。



● バッテリーを高温下にさらす

ニッケル水素バッテリーは、高温下（38℃以上）にさらされるのが苦手です。

- バッテリーを炎天下の自動車内や冬場の暖房器具のそばなど、高温下（38℃以上）で保管しないでください。
- 満充電になったバッテリーを何回も充電するのは避けてください。



充電のしかた

通常充電・リフレッシュ充電とは・・・

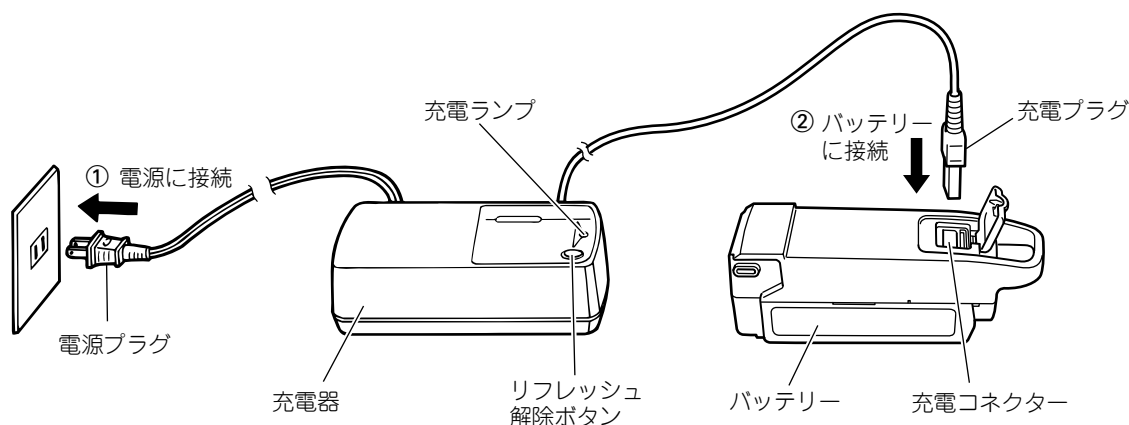
バッテリーを充電するには、通常行う「通常充電」と、バッテリーを回復させながら行う「リフレッシュ充電」の二つの方法があります。

▲注 意

- 「リフレッシュ充電」は、完全放電と充電を自動的に行う充電方法です。
ニッケル水素バッテリーは、リフレッシュ充電するとバッテリーの性能を回復させ、走行できる距離の低下を防ぐことができます。
- 最初の充電のときにリフレッシュ充電を行う場合がありますが、故障ではありません。そのままリフレッシュ充電してご使用ください。

充電器のつなぎかた

- ①充電器の電源プラグ → 家庭用のコンセント（100V）
②充電器の充電プラグ → バッテリーの充電コネクター

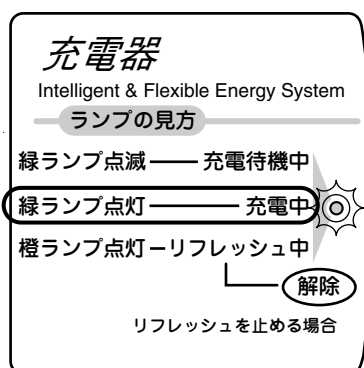


通常充電 → 充電ランプが緑色で点灯します。

充電器を電源とバッテリーに接続するだけで、充電完了まで自動的に通常充電を行います。

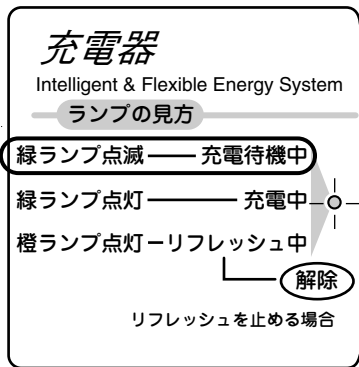
緑色で点灯→通常充電中です。

充電が完了すると、ランプが消灯します。
ランプが消灯したら、バッテリーと充電器の接続を取り外してください。



充電待ち → 充電ランプが緑色で点滅します。

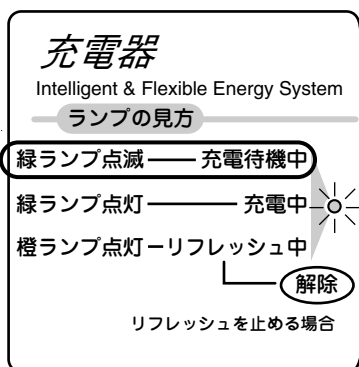
緑色で遅い点滅→充電待機中です。そのままお待ちください。



バッテリー内の温度が0～38℃の範囲内でない時は、充電ランプが緑色で遅く点滅し、充電待ちの状態をお知らせします。充電できる温度になると充電ランプが緑色の点灯に変わり、自動的に充電が始まります。この場合、通常充電より充電ランプ点滅の時間分だけ充電時間が長くなります。

(気温が充電可能な範囲でも、走行直後はバッテリー温度上昇のため充電できないことがあります。)

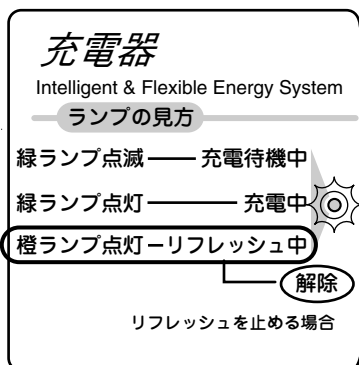
緑色で速い点滅→温度異常で充電を中止しました。



充電待ち（充電ランプが緑色で遅く点滅する状態）が長時間続いたときは、充電ランプが緑色で早い点滅を始め、充電を中止します。バッテリーの温度が0～38℃の範囲内におさまる頃に、充電プラグを差しなおしてください。

(充電をいったん正常に開始しても、充電中のバッテリー温度上昇により、途中終了する場合があります。この場合、充電ランプは消灯します。)

リフレッシュ充電 → 充電ランプが橙色で点灯します。



橙ランプ点灯→リフレッシュ放電中です。

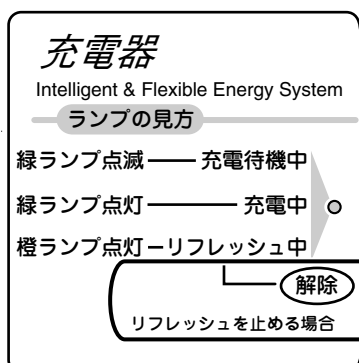
そのまま充電を続けてください。

リフレッシュ放電終了後は、自動的に通常充電を開始します。

- リフレッシュが必要になった場合、充電器が判断して自動的にリフレッシュ充電が始まります。

- リフレッシュ充電には、最大約8時間かかります。

リフレッシュ充電を中止したいとき



- 時間に余裕がないときなど、リフレッシュ充電を中止したいときは、解除ボタンを3秒以上押すと解除できます。

- 解除されると充電ランプが緑色点灯に変わり、通常充電を開始します。

- 解除したリフレッシュ充電は、次回の充電時に繰り越されます。

- 次回充電時には必ず、リフレッシュ充電を行ってください。

- リフレッシュの解除は続けて行わないでください。

充電時間の目安

通常充電のとき

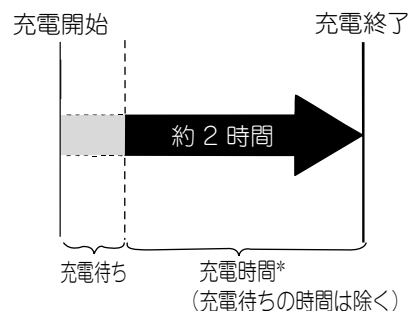
充電時間は、充電前の走行状態やバッテリー残量・外気温により異なりますが、残量ランプ点滅まで乗ると約2時間です。

▲警告

充電中異常に気づいたら、ただちに作業を中止してください。

* 長期放置後の充電、およびリフレッシュ後の充電に要する時間は、およそ2時間15分です。

電池の状態により、さらに充電時間が延びる場合がありますが、充電ランプが赤色で点灯または点滅していなければ故障ではありません。



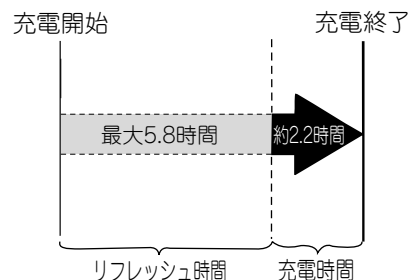
リフレッシュ充電のとき

リフレッシュ充電の場合の充電時間は、上記の充電時間にリフレッシュの時間が加わりますので、時間に余裕があるときに行ってください。

リフレッシュ充電時間（リフレッシュ時間 + 充電時間）はバッテリー残量により異なりますが、最大約8時間です。

要 点

リフレッシュ時間はバッテリーの残量によって異なります。
バッテリー残量が少ないときにリフレッシュすると、短時間で済みます。



ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア  **0570-050814**
オープン時間 月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日を除く）
9:00～12:00 13:00～17:30
○一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。
○IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。

〒432-8058 静岡県浜松市南区新橋町1103番地 FAX.053-443-2187